

「学校組織マネジメント～学校運営を支える学校事務職員の役割～」に参加されるみなさまへ

会津美里町立高田中学校 皆川 満

西郷村立西郷第一中学校 稜川木 綿子

(名前の順番は、年齢の順です。)

## 1. はじめに

このたびは、ステップアップ講座Ⅳ「学校組織マネジメント～学校運営を支える学校事務職員の役割～」にご参加をいただきありがとうございます。この講座は、去る2月に開催された独立行政法人教員研修センター（茨城県つくば市）主催の「平成25年度学校組織マネジメント指導者養成研修（第4回：小・中学校事務職員研修）」の伝達を行うものです。

夏期研修会での時間は、150分と限られています。限られた時間を有効に使うためにも参加されるみなさまに事前の課題や研修の進め方などお伝えしたいことがあります。このことをご理解のうえ、お臨みくださるようお願いいたします。

つくばでの研修の目的には、「学校運営にあたっては、校長の示す学校経営方針のもと、教職員がそれぞれの役割に応じて経営に参画し、校務を機能的・効果的に行うなど、学校が組織として機能することが求められている。本研修では、各地域において、学校組織マネジメントを推進するための研修を企画・実施ができる中核となる指導者を養成することを目的とする。」とあります。

私たちが、つくばでの研修を受講し「中核となる指導者」となれたか否かは、兎も角として、受講者は、「各地域において本研修の内容を踏まえた研修の講師等として、活動を行う予定である者（実施要項より抜粋）。」とされており、研修を受けた後に、その成果を地域に広めなければならないことになっています。

このような背景から、今回、このような機会を与えていただけたことに感謝しています。

5日間の研修を150分に凝縮して行います。中身の濃い研修にできればよいのですが、つくばでの研修の成果の一端をご理解いただければ幸いと思っております。

一昨年の夏期研修会でも、今回と同様につくばで研修を受けられた方が、講座を持っています。内容的にはほぼ同じとお考えいただいてよいと思います。

一昨年、この講座を選択された方には、2番煎じと感じられるかもしれません。また、講師の力量に違いがあるので、ご期待に十分応えることができないかもしれませんが、私たちに一生懸命行いますので、ご容赦ください。

## 2. 研修の進め方

この講座では、つくばでの研修の講義の伝達と演習を行います。

### (1) 伝達

つくばでの5日間の研修の概要をお伝えします。

受講した講義についての報告です。時間に制約があるので、講義については、その一部についての報告となります。演習を行ううえで必要な内容については、お伝えしたいと考えています。ご容赦ください。

時間は30分程度で考えています。

### (2) 演習

私たちがつくばの研修で行った演習のダイジェスト版です。

この演習の目的は、学校運営上の特色ある取組についてPDCAサイクルの「A（改善）」を行うために事務職員が果たす役割を追究することです。

つくばの研修では、10時間を演習にあてています。今回は、120分と短い時間ではありますが、「学校運営を支える学校事務職員の役割」について参加されるみなさん全員で考えていきます。

演習は、グループでの協議を中心に行います。一つのグループの人数を6名程度で考えています。現時点では、参加者が76名ということですので、グループの数を12とします。

グループ分けは、当日発表とさせていただきます。受付の際にわかるようにしておきますので、そのグループの席にお座りいただきお待ちください。

講義と演習は関わっているのですが、つくばでの研修では、講義と演習をほぼ交互に行い、理解を深めながら進めることができましたが、今回は、限られた時間を有効に活用することを念頭に置いたため、まず講義の伝達を行い、次に演習を行うことにしました。

講義の伝達については、概要にとどまってしまうので、十分にご理解をいただけないままに演習を行うこととなりますが、必要なポイントを押さえながらお伝えしたいと考えています。このことについても予めご了承ください。

演習を円滑に実施するため、参加されるみなさん全員に、事前課題として別紙、「演習協議資料」を作成していただきます。演習は、この「演習協議資料」をもとにグループでの協議を中心に行います。

作成していただいた「演習協議資料」は、15部印刷のうえ、ご持参ください。

時間や会場の環境などの制約はありますが、与えられた条件の中で十分成果が得られるように工夫をしながら進めたいと考えています。ご理解とご協力をお願いします。

演習の内容（流れ）は、おおよそ以下のとおりです。

#### ① 取組状況の把握

事前課題の「演習協議資料」をもとに、それぞれの学校における学校運営上の特色ある取組、取り組んだ理由、課題について協議し、他校の取組について理解します。

- i) 持参の「演習協議資料」をグループの方に配布します。…残部は、運営委員にご提出ください。
- ii) 「演習協議資料」に基づき、それぞれの学校での取組や理由、課題等について説明します。
- iii) 「優れている点、工夫している点、参考になる点」などの感想をメモしながら事例発表を聞いてください。
- iv) それぞれの説明に対しての質疑応答を行い、理解を深めます。

#### ② 協議事項の決定

グループ内で検討する取組事例をグループの取組事例の中から1つ決定します。

- i) 「演習協議資料」の中から、特色ある取組事例を1つ選んでください。
- ii) 学校を運営するうえで事務職員に求められている役割について課題意識を持ち、グループでの共通理解を図りながら進めます。
- iii) 決定した取組事例をもとに協議資料「ワークシート①」を作成します。「ワークシート①」は、模造紙を準備しますので、そこにペン書きをしていただきます。

### ③ 取組事例の具体的検討・協議

取組事例をもとに作成した協議資料「ワークシート①」から学校運営における課題を解決する方法を検討します。その中で、事務職員の役割を整理します。

取組事例の課題について協議し、改善策、改善策の評価方法及び指標について、グループでの考えをまとめ、「ワークシート②」を作成します。「ワークシート②」は、模造紙に作成します。

発表を行うためのレジュメを作成します。

### ④ 協議結果の発表

各グループでの協議結果を発表します。

発表は、12あるグループを2つに分けて6グループずつで行います。

作成した「ワークシート①及び②」をもとに発表します。その際、説明が聞きにくい場合は、イスを移動するなどしてよい場所を見つけてください。

より理解を深めるため質疑応答を行います。

### ⑤ 意見発表シートの作成

発表を聞いた他のグループから「有効だと思う点」、「検討が必要だと思う点」について意見をもらいます。

意見は、「意見発表シート（付箋）」に記入します。「有効だと思う点」は、水色の付箋紙に、「検討が必要だと思う点」は、ピンク色の付箋紙に記入してください。記入した付箋は、台紙に張り、発表したグループへ渡します。

ここで協議を行えば、より深い研修となるのですが、時間の確保が難しいので、このような方法をとります。予めご了承ください。

### ⑥ 協議結果の再検討

他のグループから寄せられた意見をもとに取組事例の再検討を行い、学校運営を支える事務職員の役割についての理解を深めます。

作成したワークシート①及び②を赤ペンで修正し、完成させます。

グループでの協議の進め方は、そのグループにお任せしますが、発表をされる方はお決めください。発表される方は、お一人でも複数でも構いません。また、グループ内で協議の進行をされる方（司会役）をお決めいただくとスムーズに進むと思います。

事前をお願いする課題については、「記入例」やつくばの研修で紹介された「取組事項」を「事前課題作成のヒント」として添付しました。お考えいただく際の参考にさせていただければ幸いです。

つくばでは、パソコンを使って演習を行いました。また、一昨年の夏期研修会でもパソコンを使っていた研修であったそうですが、今回は、会場の都合もあり、紙にペンでお書きいただくアナログな研修になります。多少不便ではありますが、ご容赦ください。

なお、演習では、24年度につくばで研修を受けられた

二本松市立二本松北小学校 加藤智恵子さん

田村市立都路中学校 仲澤市雄さん

の2名の方にもお手伝いをいただくことになっています。

### (3) まとめ

演習終了後に今研修講座のまとめをします。

## 3. おわりに

講座の概要は以上ですが、今後、研修会までにより有意義な研修を行うための方法をもう少し考えたいと思っています。そのため若干の変更が生じることもあるかもしれません。その際は、ご容赦ください。

## 4. 付録

### (1) 事前課題作成のヒント

私たちが参加したつくばの研修では、以下のような取組事例が紹介されました。参考になれば幸いです。

- 開かれた学校予算の在り方を考える。
- 学校集金会計事務の適正な取り扱いについて
- ESD（持続発展教育）を取り入れ、自然体験を重視した県境教区に取り組んでいる。森林県群馬の児童として自然と調和した生活の大切さを指導し、宿泊を取り入れた尾瀬国立公園への体験学習や河川環境学習から持続可能でなおかつ発展する社会の一員としての自覚を育て、実践力のある児童を育てる。
- 地域との連携に向けた取り組み（文化的活動から幅広い連携へ）
- 学校徴収金未納に対する組織的な取り組み（学習費、給食費の全家庭完納を目指す）
- 「\*\*\*踊りの伝承」を通して、全児童・全職員と地域で作り上げる教育活動
- 教育環境整備と学校配当予算の有効活用
- 子どもの安心・安全を確保する
- 学校支援地域本部の活用
- 学校運営支援事業（コミュニティスクール）の推進
- 外部講師招聘
- 学校事務共同実施環境整備事業
- 校務分掌組織の活性化に向けた取り組み
- 充実した給食を実施するための給食費の徴収について
- 地域の防災拠点となる学校
- 学校徴収金口座振替の全面实施
- 安心・安全な教育環境の整備
- 財務管理の組織的運営による、学校予算の有効的活用と保護者の負担軽減
- 学校改善プロジェクトの一環によるリスクマネジメントの確立について
- 修学旅行貯金（学校納入金）の減額に向けて
- 生徒・保護者・学校代表者の3者で、年に2回（7月・2月）意見交換会を実施している
- 校内会計システムの整備
- 次年度町学校配当予算に係る予算要求（毎年11月）に向けて学校での取り組みと、共同事務（小学校2校・中学校2校週1回実施）における研修
- 学校事務職員が学校運営に参画すること（専門性を生かした戦略づくり）

- \*\*市が進める学校集金口座振替制度の推進
- 学校から家庭や地域社会への発信と広報
- 温かな学習環境の整備
- 本校では、コミュニティー・スクール導入に関する実践研究指定を受け、「学校運営協議会の組織・運営体制」と「外部人材の積極的な活用」に視点を当てた特色ある学校づくりを目指して実践研究を行っている。
- 生徒から見える危険・修繕箇所等のアンケートの実施
- 小中一貫教育推進における事務連携の強化
- 15の春を目指して（7歳～15歳までの義務教育9年間を、一貫した教育活動を推進していくための組織・機能の一体化を目標とした組織体制の確立）
- 防災意識の高揚（阪神・淡路大震災を代表とする災害を語り継ぐとともに学校での防災対策・復旧を目指して）

(2) おまけ（今回の研修には関係はありません。蛇足です。）

① つくばの研修

昨年度は、参加者の都合により2名でしたが、例年、福島からは3名、受講しています。実施要項では、各都道府県、政令都市から3名以上の推薦とあります。

ここ数年の傾向では、県北・県中・県南・会津から隔年、南会津・相双・いわきからは2年おきに各1名ずつ、今年は、この法則に則れば、県北・県中・南会津からとなります。

この講座には、教員向け・高等学校の事務職員向け・小中学校の事務職員向けがあり、小中学校の事務職員向けの講座は、例年、つくばの研修センターでその年度に開催する最後の研修になっているそうです。

平成26年度の小中学校の事務職員向けの講座は、2月23日（月）から27日（金）までの5日間、160人の予定です。

② 研修に参加される方へ（12月に打診があり、1月下旬に決定通知が来ます。）

どうでもいいことですが、知っているのと役に立つこともあると思います。

i) 名刺は、必須アイテム。

全国からたくさんの学校事務職員が集まります。

演習は、班ごとに行います。まずは、その方々と名刺交換です。

初日の夜の交流会でも、研修で席がご近所になった方とも、宿泊棟にある談話室でも、まずは、「こういう者です。」と名刺交換です。

どなたと名刺を交換したのかがわからなくなるくらいです。気が付けば、同じ名刺を複数枚もらっていました。

名刺を交換して、お話をしてみると、栃木の方が実は郡山市民だったりとか、いろいろな方とつながりがあることに気が付きました。

昨年の参加者は、179名。全員と名刺交換をしたという強者もいらっしゃいました。

他県の状況を生で聞くことができとても勉強になりました。

ii) 地酒を持っていきましょう。

初日の夜は、全体での交流会です。参加は自由意志ですが、事前に意思表示をする必要があります。この日の夕食は食堂では提供されません。ほぼ全員が参加しているようです。その際のあいさつ代わりです。

私は、重い一升瓶を持っていくのは嫌だったので、宅配便で送りました。

iii) 地元のお菓子を持っていくとモアベターです。

演習は、6～7人の班での活動になります。そこへのお土産です。甘いものを食べれば、気持ちも安らぎます。話のタネにもなります。

iv) 画像（写真）や音声は記録しておきましょう！

報告書を作成するなり、今回のようにお話をするためにあればよりベターです。講義は、メモを取りながら聞きますが、録音できれば後で聞き返すことができます。

私は、ほとんど写真を撮っていなかったため、演習で同じ班になった方に後から送っていただきました。

v) 宿泊する部屋は、3タイプ。

宿泊棟が3つあります。第1宿泊棟（Aタイプ）は、シングル200室。第2宿泊棟（Bタイプ）は、ツイン50室、ただし、シングルでの利用です。第3宿泊棟（Cタイプ）は、シングル50室。Cタイプにのみ洗面所とトイレがあります。AタイプとBタイプでは、共用になります。

部屋にテレビはありません（ケータイのワンセグの映りはよくありませんでした。）が、冷蔵庫があります。お風呂は、別棟になります。宿泊棟の談話室にはテレビがあります。

Cタイプは、超人気らしく、申し込み開始から数分で満室になってしまいます。希望したのに取れなかったという声をたくさん聞きました。

vi) 食堂の利用には食券を購入します。

食券は、自動販売機で購入します。初日の昼食時は、とても込み合います。私は、前泊をしたので、前もって購入しておきました。

食券は、いつでも購入もできます。また、余れば返金してもらえます。

vii) お風呂は夜のうちに

お風呂の時間は夜だけですが、シャワーだけなら朝も使えます。ただし、2月下旬の朝は寒いです。浴室内はまだ寒く、お湯が出るまでにも時間がかかりました。お風呂は夜のうちに済ませることをお勧めします。

viii) その他

学園西通り（片側2車線の道路）を挟んだ東側に「カワチ」があります。寝酒のビールとおつまみを調達しました。セブンイレブンも近くにあります。

前日夕方につくば駅からのバスは、超満員でした。座るためには、早く並ぶか便を考えましょう。あんまり便数は出ていません。

正門付近で、近くの居酒屋さんが割引券を配っています。躊躇せずにもらっておきましょう。